

1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年 5月 20日

【評価実施概要】

事業所番号	2271200178
法人名	(有)グリーン・フォレスト
事業所名	グループホーム 萩
所在地 (電話番号)	静岡県御殿場市東田中 1431-14 0550-82-2252
評価機関名	セリオコーポレーション株式会社
所在地	静岡県静岡市清水区迎山町 4番1号
訪問調査日	平成20年02月19日(火)

【情報提供票より】(平成 20 年 01 月 25 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 05 月 21 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	22 人	常勤 7 人, 非常勤 15 人, 常勤換算	22 人

(2) 建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	木造 造り	2 階建ての 1 階 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	63,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(150,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 1,100 円			

(4) 利用者の概要(平成20年 01月 2)

利用者人数	17 名	男性	2 名	女性	15 名
要介護1	0 名	要介護2	8 名		
要介護3	6 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 88.8 歳	最低	82 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	東山クリニック・富士病院・東部病院・いしだ歯科医院
---------	---------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

御殿場市の市街地にありながら、秩父宮記念公園や東山湖に近く、桜並木も見事で田んぼには雉が遊ぶ自然色豊かな場所にある。運営者・管理者・職員は、ホームの理念「自立と尊厳」の下に、人生の大先輩であるお年寄りが最後まで「よかった」と思える人生が送れるよう、自分たちができることは何か?を考え、日々努力している。職員の定着率も高く、ホームの利用者と職員がひとつの家族として生活し、何でも話せ、居心地の良い、いつも笑顔の絶えないホーム(家庭)を目指している。地域施設との交流において、リーダー的な存在感を生かし、積極的な働きかけが期待される。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回・前々回の指摘に対し、運営者・管理者・職員が一丸となって改善に取り組み、介護計画の見直し、継続的な研修受講等殆どの課題が改善されていた。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	外部評価の意義を良く理解し、自己評価票作成には職員が全員で取り組みを行った。また、その結果をカンファレンスで話し合い、日々のサービスに反映しようとする姿勢が強く感じられた。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議はほぼ2ヶ月に1回、着実に開催されており、ホームの活動状況や利用者の状況、各種の行事等を報告している。その中で地域や家族からの意見を聞き、そこでの意見をサービスの向上に役立てている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	苦情・相談窓口が重要事項説明書等に明示され、外部機関や行政に苦情を表明できる工夫がされている。面会時には積極的に声掛けし、近況報告などをしながら家族の意見や希望を聞いている。請求書送付の際近況報告を書いたりホーム便りを発行(年4回)し、行事の報告や日常の様子などを報告している。また、ご意見箱を設置し、口頭での意見も含め、内容についてカンファレンスで話し合っている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	積極的に地域との交流に努め、地域の行事(さいと焼き・桜祭り・区民文化祭など)への参加やボランティアの受け入れなども積極的に行い、地域と密着したホームとなっている。また、ホームの行事(太鼓演奏会)にも招待している。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「自立と尊厳」を理念に掲げ、地域で暮らし続け、地域に貢献するホームを目指したいという運営者の姿勢が良く反映されている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員はホームの奥深い理念をよく理解するために、毎月のカンファレンスで確認し合い、日々の業務に反映する努力を行っている。また、利用者の個性を生かした家庭的な対応等、理念の実践への前向きな取組みが見られる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開設に当たり地域説明会を4回実施、また開設後も積極的に地域との交流を図っている。地域の行事への参加やボランティアの受け入れなども積極的に行い、地域と密着したホームとなっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員が全員で実施、取り組みを行った。また、運営者、管理者からは自己評価票を努力目標と位置付け、日々のサービスに反映しようとする姿勢が強く見られた。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状では運営推進会議委員の招集が困難な場面があり、ホーム主導型の会議となりやすい傾向がある。しかし、運営者、管理者ともに前向きに働きかけを実施しており、地域や家族からの意見を業務に反映したいという姿勢が感じられる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は行政に良く出向き、ホームとの架け橋となっている。地域包括支援センターとの関係も良好である。また、福祉相談員が頻繁に出入りし透明性の高いホームとなっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームの特徴として、家族等の面会率の高さがあげられる。平均、月2回以上の面会があり、家族とホームが密着している。また、ホーム日より(年4回)は、利用者の生活が良く反映された充実した内容で、家族からの評価も高い。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会、訪問が頻繁な事から、家族の意見は随時反映されるシステム(利用者担当制)となっている。また、苦情・相談窓口が重要事項説明書等に明示され、外部機関や行政に苦情を表明できる工夫がされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来4年弱で職員の異動が殆どない。利用者になじみの関係の中でサービスが提供されており、家族と暮らすような穏やかな空間で生活している。明るい表情が多く見られた。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者・管理者・職員は、より良いサービスの提供のためには自己研鑽が必要な事を充分理解し、研修等には積極的に参加している。また、研修後は職場での勉強会にて伝達講習が実施されており、職員の意欲は高い。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業施設7ホームの中で、初期に開設された3ホームが主導的に連絡会議を開催している。しかし、行政主導の連絡会が1回だけ開催されたが継続していない。	○	地域の中でリーダー的な存在である事から、同業者への声かけや働きかけを担う事が望まれる。行政に対しても、連絡会や情報交換会等の提案を積極的に実施していく事が望ましい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学は随時受け入れており、予約なしの見学者も拒否しない。本人、家族ともに納得するまで見学、説明に応じ、必要があれば体験利用、家族宿泊も実施している。入所後の定着率が高い事もホームの特徴である。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごす時間を大切にしており、新しい発見に努めている。特に居室担当者は本人から学ぶ姿勢を忘れず、料理の作り方・昔の慣わし・家族のあり方や子育て等を学び、支えあう関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時のアセスメントの中から利用者の生活歴を把握すると共に、1対1の関係を大切にし、日常会話や観察の中から本人の思いや希望・意向を把握し、それを叶えるよう努力している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を活用し、介護者本位から利用者本位の考え方に立ち、毎月のカンファレンスの中で関係者の意見を反映し、ケアプランを作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的には3ヶ月に1回見直ししており、変化が生じた場合は随時計画を見直し、変更して対応している。		

静岡県グループホーム 萩

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	提携医院が隣接しており、利用者・家族・職員も安心である。また、系列のグループホーム・デイサービス・小規模多機能施設があり、気晴らし・運動会・芋掘り等、その時々に応じて活用している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	以前からのかかりつけ医についても本人・家族の意向を尊重し、より良い関係を継続している。休日・夜間に関係なく受診できる提携医院が隣接しており、咄嗟の場合も安心である。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	自立と尊厳の理念からターミナルを捕らえており、「住み慣れたグループホームでの看取りの希望」「延命治療の希望」のアンケートを取り、早い段階からその対応に備えている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	情報の利用について同意書を貰い、書類等はしっかり事務所で管理している。トイレ等の声掛けについては、その人に合わせて行い、プライバシーを損ねないよう配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	極力決まりは作らず、居室でのおやつ・何時でも入浴等、利用者一人ひとりのペースを尊重して生活を支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士によるバランスのとれた献立があるが、一人ひとりの好みを把握し、希望を聞きながら献立を変更している。配膳・食事・片付けは一緒に行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週4日入浴日を決めているが、希望があれば日や時間に関係なく対応している。また、ゆっくり入浴できるよう、時間に余裕を持たせている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者全員に張り合いのある生活をしていただくために、その人に合った役割や楽しみ事を見つけ出すよう努力している。役割には掃除・食事の準備や片付け・畑仕事をできる人にはお願いし、楽しみ事にはドライブ・外食・買い物等の機会を作り、参加できない人への配慮も行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩やドライブ、ベランダでの外気浴を行っている。秩父宮公園・東山湖等近くに散歩コースがあるので、希望があればその場で沿えるよう調整している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1F玄関前が病院の駐車場で、車の出入りがあること、2Fは階段が危険のため施錠されている。	○	危険との兼ね合いは難しい問題であるが、行動パターンの把握・見守り・外出兆候の把握等で、施錠しない工夫の検討をお願いしたい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災・避難訓練は行っているが、夜間訓練・地元との協力体制の構築はこれからである。	○	万が一の災害に備え、夜間想定訓練や地域の人たちの協力が得られるような働きかけを検討願いたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリーや栄養バランスについては、栄養士による献立で考えられている。一人ひとりの状況に対しては、量や塩分の調整で対応し、必要な人には水分チェック表を作成して支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、バリアフリー設計になっており、季節による装飾も変えられ、快適な空間になっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家族の方に協力をお願いし、普段使い慣れた小物や調度を居室に置き、落ち着いた過ごし易い居室作りをしている。		